



2004年度防災教育チャレンジプラン

2004 年度

第1回防災教育チャレンジプラン

楽しい防災！豊かな体験！

TOUKAI ハウスプログラム

実践活動報告書



Nihon Volunteer Network

日本沼津災害救援ボランティアの会



2004年度防災教育チャレンジプラン



NVN防災教育チャレンジプラン 第1回 実施プロジェクト会議

日時 2004年(平成16年)4月10日(土)

会場 沼津市青少年教育センター 2階会議室

→ 稲木寛男委員長 (NVN代表)

渡辺八郎副委員長 (NVN副代表)

鈴木清光 委員

(沼津第三中学校教諭)

久保田澄子 委員

(清水町おはなレクック代表)

高木亜理紗委員

(NVN青少年委員・高1)

→ 長澤雅委員

(NVN青少年委員・中1)

杉山和子 委員

(日本ドールハウス協会・講師)

狩野窪由美子委員

(NVN理事)

山本久男 委員

(KAI建築設計事務所所長)



2

⇨後方は

取材する

地元新聞社の

記者の方々

3

委員の皆様へ！

昨夜はお忙しい中を御参集下さり、心より御礼を申し上げます。NVN
防災教育チャレンジプランについて、今後とも宜しく御指導下さい。

◎会議内容については、狩野窪理事作製の議事録を御覧ください。

NVN代表 稲木 寛男





NVN防災教育チャレンジプラン 第2回 実施プロジェクト会議

日時 2004年(平成16年)5月8日(土)

会場 沼津市青少年教育センター 2階 和室

☆発泡スチロール製の
コンクリートブロック!
当たっても痛くないよ!
本物は痛いけれどね!

杉山和子 委員
(日本ドールハウス協会・講師)
山本久男 委員
(KAI建築設計事務所所長)
芹澤一徳 委員
(狩野川アマ無線クラブ事務局長)

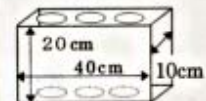
高木亜理紗 委員
(NVN青少年委員・高1)
久保田澄子 委員
(清水町おはなしクック代表)
狩野窪由美子 委員
(NVN理事)

◎左下…道場から直行の稲木代表



台湾地震被災地での
『断層現場と建物崩壊』に
ついて説明する稲木代表

コンクリートブロック
サイズ



←机の上にも
置いてあります

委員の皆様へ!

☆いよいよ実施製作に向けての、**立体模型**も登場しました。
【ハウスが倒れる!】…その臨場感を防災教育に活かしたいですね!

☆ コンクリートブロックの、楽しい積み方?も研究してくださいね!

☆ アイデアいろいろ…お待ちしていま〜あ! 事務局 石川 學





☆ミニTOUKAIハウス 製作現場ノート



☆大型製作に先立ち、まず一辺60cm程の
大きさのミニハウスから製作を開始しました。

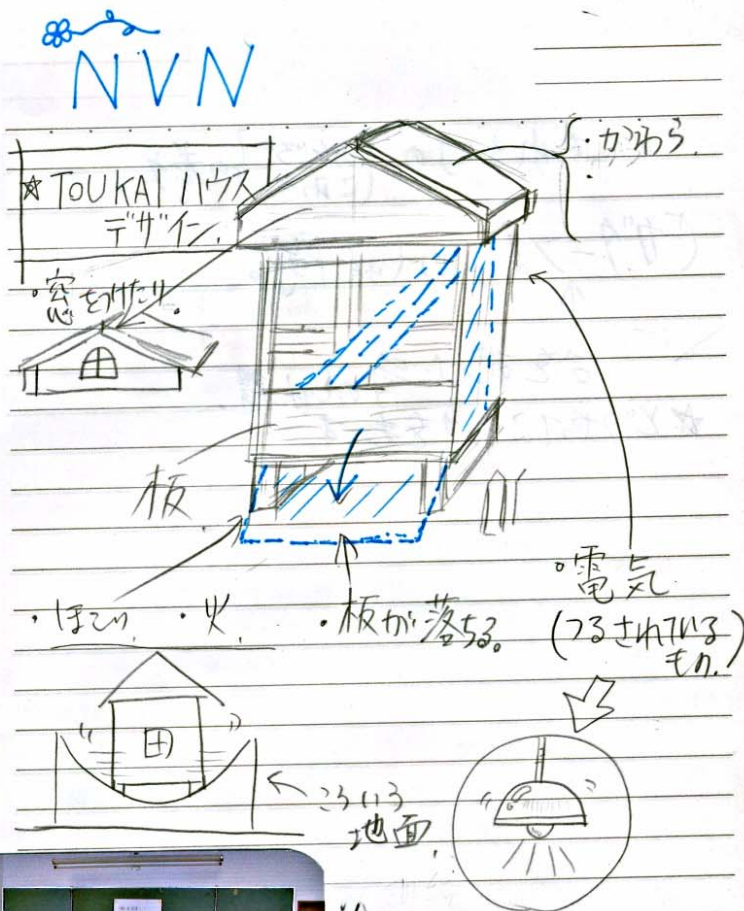
当初の形式からかなり発展した設計になった
のですがその分製作はむずかしくなりました。





第3回
防災教育
TOUKAI ハウス
プロジェクト
会議
2004 5/27 木
会 場
沼津市青少年
教育センター

☆中型ハウス
木工模型を
公開しました



⇨中型木工製作について語る
NVN稲木代表



⇨『ブーさん かわいそう!』と
NVNデザイナーの
長澤 雅さん

家が揺れる～床が傾く～
～壁が倒れる～屋根が崩れる!
…たしかに 恐くて
かわいそう!

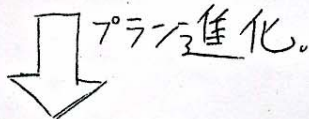




NVN防災教育チャレンジプラン

NVN ToUKAハウス

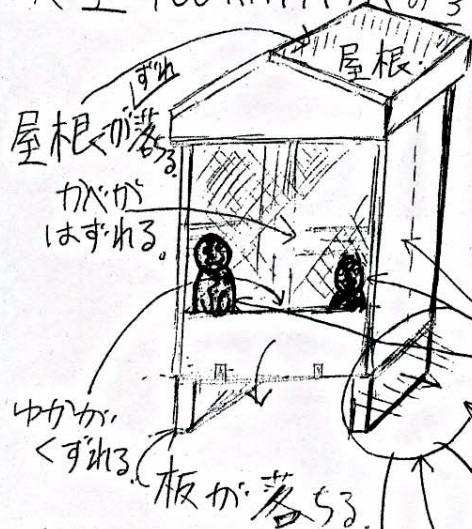
- ・ゆかがくずれる...
- ・かべがこわれる...
- ・屋根がたおれる.....



プラン進化



★大型 ToUKAハウスの $\frac{1}{3}$



- ・上からのまよひ、横からのまよひ
- ・タンスが落ちる(くずれる)
- ・電気が落ちる。

← 実際は入にちて

もらうので、
人形を2つの位置に
いれよう。もっと、もっと、大きいです。

台がたおれる。

(実際は人間が倒れ
ひもで引はって、カーテンと落とす。

★デザインをつける。

・窓をつける。

・かわらを落とす。

ローラー

ゆかがくずれて、天(お)が落ちるとい
こ。

★おとろくために、どうするか?

★体験する大切さ、観る大切さを感じよう。

$\frac{1}{3}$ の模型と人形のこを、お観て考えよ。実際にやるハウスとのおとろくをよわかつ





第1回 防災教育チャレンジプラン入選

『NVN防災教育プラン・TOUKAI ハウス』

第5回実施プロジェクト会議



日時 2004年(平成16年)6月21日(月)大雨
会場 沼津市青少年教育センター2階 第2第3会議室

プログラム

- | | | |
|-------|-----------------------------|---------------------|
| 18:30 | 1, 開会挨拶 | NVN副代表 渡辺 八郎 |
| 18:35 | 2, TOUKAIハウスの
改良点検討 | NVN代 表 稲木 寛男 |
| 19:00 | 3, TOUKAIハウスの
大型模型製作について | NVN事務局長 石川 學 |
| 19:30 | 4, 防災ドールハウス試作発表! | |
| | | 日本ドールハウス協会 講師 杉山 和子 |
| 20:00 | 5, 意見交換 | |
| 20:35 | 6, 防災講話開催
について | |
| 20:45 | 7, その他 | |
| 21:00 | 8, 閉会 解散 | |

TOUKAIハウス中型模型と
防災ドールハウスの共通点や
講習対象者 開催時期等について
それぞれ思いを語る参加者

(写真上)

この防災ドールハウスは、
男女を問わず 楽しく自然に
防災意識を伝えられますよ!
…と、笑顔で語る杉山和子委員

(写真下)

☆出席者

杉山和子 委員

(日本ドールハウス協会・講師)

山本久男 委員

(KAI建築設計事務所・所長)

鈴木清光 委員

(沼津市立第三中学校・教諭)

稲木寛男 渡辺八郎 石川學





☆大型TOUKAIハウス 製作現場ノート



//



/2

☆数々の協議を重ねた後、NVN事務所の一面に専用の作業場を設け
いよいよ製作開始！ こわれない建築を専門とする稲木建築ですが
今回だけは『安全に壊れる』という難しい設計思想に悩みながら
製作をはじめました。





☆大型TOUKAIハウス 製作現場ノート



13



14

☆夏休みに入って、NVN青少年委員の高木さんが見学にきました。
まだどのように壊れるのかを知らないで、安心して見ていました。





☆阪神淡路大震災講話

『午前6時のベルの音！』

神戸市灘区在住 横野征子さん



15



16

☆NVN防災福祉キャンプで、横野さんのお話を聞きました。神戸市灘区で被災した横野さんは、家族の無事確かめた後、すぐケアしているお宅へ行き（お母さんがリウマチで動けず、知的障害を持つ女の子の部屋で）その女の子に靴を履かせようとしていた時、時計からの6時のベルの音を聞いたそうです。





静岡県広報紙 県民だより 平成16年8月29日(日)発行

情報
クリップ

東部の話題

伊豆県行政センター
下田市中531-1
☎0558(24)2004
東部県行政センター
沼津市高島本町1-3
☎055(920)2181熱海県行政センター
熱海市水口町13-15
☎0557(82)9003
富士県行政センター
富士市本市場441-1
☎0545(65)2103

沼津市

NVN日本沼津災害救援ボランティアの会
『倒壊ハウス』で臨場感のある防災教育

机の上に高さ約60センチの家屋模型。手で大きく揺らすと床が傾き、壁が倒れ、屋根が崩れていきます。中のぬいぐるみが押しつぶされ、視界から消えていき、建物倒壊の恐ろしさを身近に感じさせます。

「まず、建物が倒壊する怖さを知ってもらうこと。次に自分の身を守る方法を考えてもらい、家具を固定するなどの実践に結びつけてもらいたい」とNVN事務局長の石川學さんは話します。同会は阪神・淡路大震災で救援活動をした人たちが中心となって設立。これまで救命法講習や学習会などを開き、国内外の災害発生時には現地で救援活動を行っています。

今年は実践的な防災教育として「TOUKAI(倒壊)ハウス」と名付けた教材作りに力を注いでいます。最終的にはこの約3倍の大きさの家屋模型をベニヤ板で作り、実際に中に人が入って身を安全に守る方法を体験できる出張講座を小学校などで開きたいと張り切っています。

皆さんもわが家の安全を再確認して、地震から身を守る方法を家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

【問い合わせ】

NVN日本沼津災害救援ボランティアの会(石川方)
☎090(1984)4901

『TOUKAI(倒壊)ハウス』の仕組みを研究するNVNの皆さん

☆静岡県広報紙『県民だより』には
倒壊ハウスとして紹介されました。

沼津市消防本部白岩さん(右)も
取材に協力してくれました。





☆大型TOUKAIハウス 検討会議ノート



☆沼津市青少年センター研修室で、ハウスを組立てての検討会議です。
まずモデル二人に入ってもらって倒壊前の感想を聞いています（上）
少しずつ倒壊状況を作りながら、床～壁～天井の傾斜の感想を聞き（下）
各部材の耐久度等を検討しています。

『かなり怖いよ！～見た目よりこわーい！』

との感想でした！





☆大型TOUKAIハウス 検討会議ノート



19



20

☆ TOUKAIハウスの改良点を考える稲木代表と委員達

(写真上)

☆ ハウス後方からのアングルで！傾斜の大きさを実感！（下）

◎委員からは、ぜひ市内の小学校での公開をして欲しいとの要望が寄せられました。





☆大型TOUKAIハウス 公開実験ノート



21



22

☆沼津市立片浜小学校PTAの御協力を得て、
TOUKAIハウスを子供達と保護者の皆様に
体験していただきました。
『こわかった！ ドキドキした！みんなで助け合おう！』
いろいろな感想が寄せられましたよ！





☆ミニハウス公開展示ノート 沼津市大岡下石田自治会**秋祭り**



☆沼津市内の自治会秋祭りでの展示風景です。

防災を日常的に考えよう！…というNVNの提案で実現しました。

『あっ！ そうか！ 床と壁と天井が傾くってこうなるんだ！』…

…と、お母さん。

『ブーさん！ここにいと、あぶないよ！』…と、

ブーさんを避難させる女の子。

試作品のミニハウスでしたが、手軽な教材としての役割を果たして好評でした！





☆大型TOUKAIハウス 防災とボランティア講座…展示実演！



☆静岡県東部県行政センターからの依頼により、沼津駅前で
週間展示を行い、最終日に公開実験を行いました。

NVNの子供達も参加して組み立て、モデルを交代にしました。
かなり慣れているメンバーですが怖さは変わらないようです！





☆大型TOUKAIハウス
防災とボランティア講座…展示実演！



27



28

☆TOUKAIハウスの勇姿？

☆県防災スタッフとNVNの記念フォト！





☆第1回防災教育チャレンジプラン 実施プロジェクト委員名簿

委員長 稲木 寛男 NVN・代表
副委員長 渡辺 八郎 NVN・副代表
委員 芹澤 一徳 狩野川アマチュア無線クラブ・事務局長
山本 久男 K A I 山本建築設計事務所・所長
久保田澄子 清水町おはなしクック・代表
鈴木 清光 沼津市立第三中学校・教諭
杉山 和子 日本ドールハウス協会・講師
高木亜理紗 NVN青少年委員・高校1年
長 澤 雅 NVN青少年委員・中学1年
狩野窪由美子 NVN・理事
石川 學 NVN・事務局長

☆阪神淡路大震災特別講話 「午前6時のベルの音」

講演者 横野 征子 神戸市灘区 在住

最終審査発表委員

音楽・効果 西尾 安春 WEST音楽事務所・代表
ハウス操作 稲木 寛男 NVN・代表（ハウス製作者）
朗 読（母役） 長田 結希 御殿場市立 御殿場中学校 1年
〃（雅役） 長 澤 雅 沼津市立沼津高等学校 中等部1年
脚本・ナレーション 石川 學 NVN・事務局長





第1回防災教育チャレンジプラン入選作品「TOUKAIハウス」物語 脚本石川學 音楽・効果 西尾安春

もう何十年も前から「来るぞ！来るぞ！」…とされている東海地震…。学校でも…職場でも…地域でも…
……駿河湾の沼津港近くの 雅（みやび）ちゃんちでも、新しい朝がはじまりました。

雅…おはよう！ママ！ 今日がんばって学校まで行かなくて！…
母…なに言ってるのよ！ 自分が好きで選んだ中学でしょ！
雅…それはそうだけど……でも、自転車通学って結構大変だよ！
母…そうね！ 自動車も危ないけど、交差点も注意して渡ってね…



☆（ 饅頭の干物と、新鮮な卵でいつもの朝食を終えて…しばし朝の のんびりタイム…）

雅…さあ～て…と、天気はどうか？
母…そうね？ 最近 なんか天気がおかしいわね！
雅…やけに、トラが吠えているわ！ 隣のジョンも…変ね！？

その時！ グラ！と
二人は何かを体感じました。

雅…あつ！ あれっ？
母…みやちゃん！



東海地震発生！

雅…ママっ！ だいじょうぶ！ イターイ！
母…みやちゃん！
雅…ママっ！ 落ち着いて！ 私だいじょうぶよ！
母…靴を履いて外へ！ みやちゃん！



家を出た二人が目にしたのは、崩れた…

★さて、ここで時間を少しだけ戻してみたいと思います。そうほんの少しだけ…

しかし、今度の雅ファミリーでは、その内にと言う事で耐震補強や家具の固定などはしてなくて…

もう何十年も前から「来るぞ！来るぞ！」…とされている東海地震ですが…なかなか来ないので…慢性的になって…
……駿河湾の沼津港近くの 雅（みやび）ちゃんちでも、新しい朝がはじまりました。

雅…おはよう！マ～マ～！
今日も学校か！ まだ水曜日か！…金曜まで長いなあ！
母…なに言ってるのよ！ 自分が好きで選んだ中学でしょ！
雅…それはそうだけど……でも、自転車通学って結構大変だよ！
母…そうね！ 自動車も危ないけど、坂道も注意して走ってね…



☆（ 紅茶、トースト、スクランブルエッグの朝食を終えて…しばし朝の のんびりタイム…）

雅…さあ～て…と、天気はどうか？
母…そうね？ 最近 なんか天気がおかしいわね！
雅…やけに、トラが吠えているな！ 隣のジョンも…変だな！？

その時！ グラ！と
二人は体感じました。

雅…あつ！ あれっ！ 何だ地震か？
母…みやちゃん！

雅… ママっ！
母…みやちゃん！ みや…ちゃ…ん…… みや…

東海地震発生！

家屋家具転倒！犠牲者多数！
火災及びTSUNAMI発生！

① 番組の途中で…臨時ニュースを申し上げます！

本日早朝 午前6時46分静岡県 駿河湾を震源とする地震が発生しました。

詳しい事はまだ分かりませんが、津波の発生が予想されます。

海岸付近の方は津波に警戒してください！

② 地震情報をお伝えします！ 気象庁によりますと震源地は駿河湾沖12キロの海底です。

また、伊豆半島から紀伊半島の全域に津波警報が発令されました。……今ヘリとつながりました！

③ 『こちら伊豆半島西の沼津市 駿河湾上空です。ものすごい勢いで波が引いています…何という…』

△家が壊れず避難できた 雅ファミリーと、家具が倒れ家が倒壊した 雅ファミリー！

あなたは、どちらの雅ファミリーを選びますか？





2004年度防災教育チャレンジプラン

第1回防災教育大賞・優秀賞・特別賞決定

昨日2月27日大手町サンケイプラザ（東京・大手町）で開催されました、防災教育チャレンジプランワークショップにおいて 2004年度防災教育チャレンジプラン実践団体の中から、各賞が決定いたしました。各賞の受賞団体は以下のとおりです。

【防災教育大賞】

○「新庄地震学」

和歌山県田辺市新庄中学校（和歌山県）

【防災教育優秀賞】

○「災害に強いまちづくりプロジェクト2004」

高知県高知市立大津小学校（高知県）

○「伊豆半島沖地震から学ぶ～今、そしてこれからの防災～」

静岡県南伊豆町立南中小学校（静岡県）

○「災害から大曽根のまちを守ろう『大曽根レスキュー隊』」

愛知県名古屋市長大曽根中学校（愛知県）

【防災教育特別賞】

○「楽しい防災！豊かな体験！TOKAIハウス プログラム！」

NVN 日本沼津災害救援ボランティアの会（静岡県）

○「乾パンだって美味しく食べたい！」

防災一座（三重県）

○「海拔表示プレートを作って津波について考えよう」

和歌山県串本町（和歌山県）



29



30

<防災教育チャレンジプラン審査委員会>

委員長	三好 正也	元経団連事務総長／㈱J-WAVE 代表取締役会長 青少年育成国民会議副会長
委員	小野 元之	日本学術振興会理事長／前文部科学事務次官
	重川希志依	中央防災会議委員／富士常葉大学環境防災学部教授
	清水 司	前全国都道府県教育委員会連合会会長
	角田 元良	全国連合小学校長会会長／千代田区立麹町小学校校長
	林 春男	防災教育チャレンジプラン実行委員会委員長／ 京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授
	藤吉洋一郎	大妻女子大学教授／NHK解説委員
	山崎美貴子	東京ボランティア・市民活動センター所長
	原田 正司	内閣府大臣官房審議官（防災担当）





『第1回防災教育チャレンジプラン 特別賞を受賞して』

誰もが避けたい災害！…

しかし、このTOUKAIハウス製作中にも、新潟県での大水害が
三条市・見附市・中之島町等で発生！

そして、名古屋でのチャレンジプランワークショップ中間発表の
丁度その時（平成16年10月23日午後5時56分）新潟県川口町を
震源とするあの**新潟県中越地震**が発生しました。

そしてそして、昨年末はスマトラ沖での大地震が発生！ 人々の
想像を遥かに超えるTSUNAMIが大きな被害をもたらしました。

多くの…本当に涙が溢れて止まらないくらいの…
多くの尊い人命が犠牲になり、心の痛い日々です。

阪神淡路大震災10年の時に、防災教育チャレンジプランの
全国入選の20組に入り製作した「TOUKAIハウス」は、
単に家が壊れる事を伝えるのではなく、災害に対する各自の備えを
日常の暮らしに当たり前に取り入れていく！と言う事を伝える
ハウスでありたいと考え設計し製作致しました。

月一度の「実施プロジェクト会議」で委員からは数多くの
アイデアが誕生し、中型ハウスは気軽な展示に適応出来る事に
気付き、また大型ハウスは傾斜を実感する事で防災意識への
大きな変化が予想以上にある事に気付きました。

阪神淡路大震災及びその後の各災害現場での活動からの
学びを、防災教育と言う観点から児童生徒そして市民の方々
そして全国の人達に伝える為に、このTOUKAIハウスを
活用し「第1回防災教育チャレンジプラン特別賞受賞作品」
としての役割を充分果たす事ができるよう今後とも努力を
続けたいと考えております。

平成17年3月1日

NVN代 表 稲木 寛男

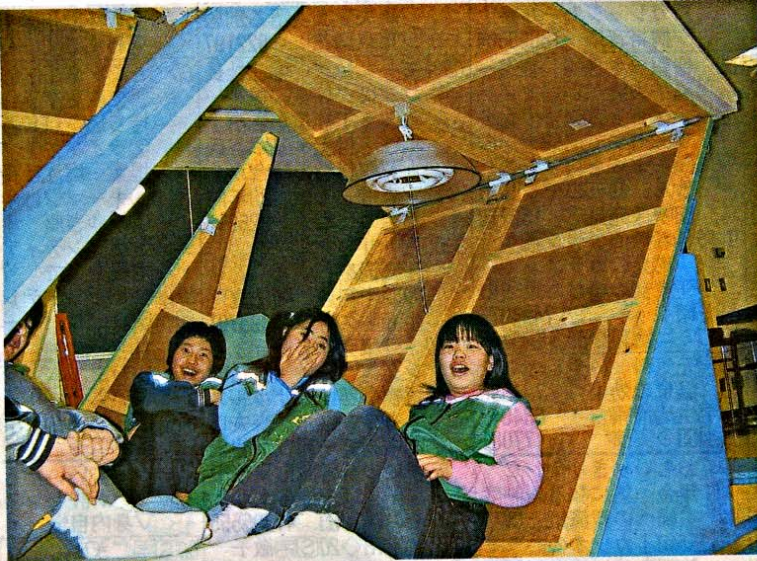
副代表 渡辺 八郎





静岡新聞

受賞した「TOKAIハウス」で家屋の傾斜を体験する児童
 沼津市八幡町の市青少年センター



「倒壊ハウス」で特別賞

沼津の災害ボランティア団体

耐震補強訴え

全国防災教育プラン

NVN日本沼津災害救援ボランティアの会(稲木寛男代表)が昨年四月に応募した災害体験ハウス「TOKAI(倒壊)ハウス」が、防災教育チャレンジプラン(同実行委員会主催)の全国大会で特別賞を受賞した。三十日夜、沼津市八幡町の市青少年教育センターで受賞報告会が開かれた。

「TOKAIハウス」あいさつし、倒壊するは、高さ二・八メートルの構造を、ミニバ、奥行き一・五メートルの家チユアの模型を使い、参加者に説明した。

壁が倒れる瞬間を実際に体験し、耐震補強の必要性を知らせる。同プランは、防災教育に取り組む全国の団体や学校から募った企画案を

稲木代表は「地震選出し、実践への支援を県、静岡ならではの、する。

ひと味違った防災活動を紹介した。評価をもええ大変うれしい」と

